

## 第18回健康・医療戦略推進本部 議事概要

日 時：平成 29 年 6 月 14 日（水）17 時 30 分～18 時 00 分

場 所：首相官邸 4 階大会議室

出席者：健康・医療戦略推進本部長、副本部長及び本部員

- 冒頭、副本部長である石原健康・医療戦略担当大臣から、医療・介護の国際展開については、「健康・医療戦略」に基づき、まず、我が国による海外の国際医療拠点の設置に取り組んできており、その中で新興国における高齢化社会への対応や、医薬品を取り扱う能力の向上等の課題が見えてきた旨の発言があり、続いて、事務局から、健康・医療に関する国際展開に係るこれまでの取組を踏まえた今後の展開について、説明があった。
- 次に、「平成29年度第1回医療分野の研究開発関連の調整費の配分について」について、案のとおり本部決定した。
- 次に、日本医療研究開発機構（AMED）の末松誠理事長から、「国立研究開発法人日本医療研究開発機構の取組について」の説明があった。
- 続いて、事務局から、先駆け審査指定制度に関する説明があった上で、以下の2名から、医療分野の最近の研究開発の動向について、発表がなされた。
  - ・「筋ジス治療薬開発 人工核酸によるデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬の開発」  
武田 伸一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所長
  - ・「脳梗塞と脊髄損傷の再生治療－自己治癒力の最大利用による健康寿命延長－」  
本望 修 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所神経再生医療学部門教授  
同附属病院神経再生医療科教授
- 最後に、本部長である安倍内閣総理大臣から以下のとおり挨拶があった。
  - ・ 健康長寿社会の実現は、安倍内閣の成長戦略の大きな柱です。この健康・医療戦略推進本部が司令塔となって、戦略的に医療分野の研究開発と健康・医療産業の育成を進めてまいりました。その核となるのが2年前に設立したAMEDです。
  - ・ AMEDでは、武田先生や本望先生に御説明いただいた研究のように、難病や後遺症に苦しんできた患者の皆様の生活を大きく変え得る重要な研究成果を次々と生み出してまいりました。未来を諦めていた人たちにとって、新たな未来を手に入れることができるという大きな成果を生みつつあるように思います。
  - ・ 更なる成果に向けて、府省の枠を超えて研究課題や成果を一元管理するデータペー

スを充実させ、戦略的・効果的に研究開発を進めてまいります。

- ・ 中でも特に重要な分野の一つが、日本が世界をリードしている再生医療分野です。「未来投資戦略2017」にも革新的な製品の創出促進を盛り込んでいます。
- ・ 今後は、iPS細胞や本望先生のお話にもあった幹細胞などを用いた先進的な再生医療技術の実用化を加速していきます。
- ・ また、治験数を大幅に増加させ、海外ベンチャーの日本移転を生み出した早期承認制度など、再生医療の成功モデルを医療機器を始めとした健康・医療戦略の他の分野に拡大していきます。
- ・ さらに、国際展開も進めてまいります。アジア地域に展開する介護事業者の支援とアジアの介護人材育成により、今後急速に高齢化が進むアジア全体で健康長寿をつくっていく、アジア健康構想を推進していきます。
- ・ また、医薬品についても、新興国の事情や期待も踏まえウィンウィンの形で日本企業が進出できるよう、政府、学会、医療者等が支援できる仕組みをつくることで、日本の医薬品産業のプレゼンスを高めてまいります。
- ・ これらの取組を着実に進めていくため、石原大臣を中心に関係閣僚の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

以上